



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE  
in the WORLDRI テーマ  
世界に希望を  
生み出そう

## 週報 佐土原ロータリークラブ

会長： 靱田 直樹 副会長： 小牧 義隆 RI2730 地区ガバナー 池ノ上 克  
 幹事： 福島 城史 会計： 内村 壮祐 中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣  
 事務局： 押川 有里 会報委員： RI 会長テーマ 世界に希望を生み出そう  
 例会場： コンベンションセンター 2730 地区スローガン 「平和を求め、希望あふれる、  
 明るいロータリーライフを進めよう」  
 例会場住所： 宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL : 0985-21-1133 ・ FAX 0985-21-1144  
 事務局住所： 宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL 0985-72-7600 FAX 0985-72-7600

## 第 1663 回例会 令和 6 年 2 月 7 日(水)

今日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング 『奉仕の理想』
3. 4 つのテスト
4. 会長の時間 靱田直樹 君
4. 幹事報告 福島城史 君
5. 出席報告 出席委員会
6. 委員会報告 ハッピーBOX 披露
7. 会員卓話 太田 忍君
8. SAA 次週例会案内

## 第 1662 回例会記録 令和 6 年 1 月 24 日 (水)

## ■会長の時間 会長靱田直樹君



皆様  
 本日は  
 このシーガイア  
 がある南北 11  
 km、約 700 ヘク  
 タールの松林に  
 ついてお話し  
 したいと思います。  
 この黒松林は、

今から 280 年前の江戸時代、徳川吉宗の時代に植林されたそうです。

その目的は、海風（潮害）から内陸の農地を守るためでした。

吉宗は、もっとお米がとれるように全国に新田開発を進めるなど、人々が暮らすための国土開発を積極的に行っていたそうです。暴れん坊将軍は良い将軍だったんですね。

ということで、全国お海岸に松の植林が行われたそうですが、現在は年々減少してきているそうです。減少している原因として『松くい虫』の影響があるそうです。

松くい虫は松の樹の柔らかい皮の部分を食べ、やがて枯れてしまうということです。さらに松から松に広がっていくので、枯れた松は速やかに取り除かないとどんどん広がっていきます。

それ以外の原因として、昔は近隣の住民が松林から

松葉を拾い集め、かまどやお風呂の火をおこす「焚き付け」や、畑の作物を冬の寒さから守る「霜よけ」などに使用していたそうです。実は、松葉を拾う行動は、松の生育に良いとされています。

松は海風に強く、砂地でも育つことができますが、落ちた松葉をそのままにしておくと、堆肥となり、栄養豊富な土壌になり、松よりも適した植物の広葉樹や雑草が生えて、松林が保てなくなっていくそうです。

昔の松林は住民の農地や生活を守り、住民は松林に入って、松葉を拾うことで松林を守るとい、人と松林は『共生関係』にあったそうです。

なので、シーガイアエリアの松林は、今もスタッフが松葉を集めて拾うというを行っています。また、フェニックスカントリークラブ周辺とこの下のトムワトソンゴルフコースの黒松の状態が異なるのをご存じでしょうか？

特徴として、フェニックスカントリークラブ周辺の松は、幹が太くて立派なものが多くあります。一方、トムワトソンゴルフコース周辺は幹が細く、密集しています。

この違いは、フェニックスカントリー周辺はもともと住吉神社が所有する土地（私有地）で約 50 年前から、松が最適な環境で育つようにしっかりとメンテナンスができる環境にありました。

トムワトソンゴルフコース周辺は元々、国有林（現在は PSR が所有）であり、さらに都市計画公園の指定ということで、営利目的の施設を作ることができない場所でしたが、リゾート法でシーガイアを作ることが出来たそうです。

当時は自然環境保護への関心も高かったことから、開発時の松の伐採は最小限にということであまりメンテナンスできない状態だったそうです。

現在は、こちらもしっかりとメンテナンスしていますので、あと、数十年すれば幹の太い松林になると思います。

## ■幹事報告 福島城史君



■出席報告 岩切正司君



出席者 17名/25名  
68%  
出席に努めましょ  
う。どうしても都  
合がつかないとき  
にはメーカーキャ  
ップしましょう。

■ハッピーボックス披露

■ゲスト卓話 吉田康一郎君



■ゲスト卓話 生玉君



■例会の様子

